

ですが、情報の透明性は価値にも繋がります。一方で欧州のさまざまな企業、とりわけソリューションを提供する企業はビジネスチャンスと捉え、各規制を超えて連携し、Manufacturing-Xのようなプラットフォーム構築も始まっています。JEITA会員企業においても、そのような意識がより一層求められると感じました。

【EUにおける法規制のTSUNAMI】

[illegible]

国内のデータ連携という観点ではOuranos Ecosystem構想が動いていますが、JEITA会員企業においては欧州でのデータ連携も重要になるため、欧州のデータスペースやManufacturing-Xなどとの連携検討も必要となります。また、日本でデータ連携を進める上でも、動静脈産業をつなぐだけでなく電気電子産業以外の産業との横連携も重要になると考えます。

報告会

5月15日にJEITA会員向けにオンラインによる報告会を実施し、150名程の聴講者が参加し、興味深い質問をいただきました。報告会の動画・プレゼン資料・質問と回答を、9月末までJEITA会員サイトにて公開しています。

是非、皆様の今後の活動にお役立てください。

本件の
お問い合わせ

トピックス

ESPR等の規制は、製造業にとっては“規制のTSUNAMI”